

《巻頭特集》 Adventure Week 2025 東北 開催

●AdventureWeekとは？

世界最大のアドベンチャートラベル業界団体「Adventure Travel Trade Association (ATTA)」が定める基準を満たした特定の地域において、ATTA が厳選した旅行会社、メディア関係者が実際に開催地のアドベンチャートラベル (AT) 商品を体験し、地域との商談会を通じ、商品のさらなる磨き上げと商流開拓を目的としたプログラムです。日本では2024年11月に開催の沖縄県に続いて2回目の開催となりました。

●開催概要

日本全国その他エリアとの競争を勝ち抜き“東北広域”としてAdventureWeek2025の開催地に採択。アメリカ、カナダ、イギリス、イタリア、オーストラリアからATを扱う旅行会社11社11名・メディア3名の計14名を招請。7日間で東北6県を巡り、最終日には東北各地のサプライヤーとの商談会を開催しました。



Adventure Week 2025 TOHOKU



Adventure Week2025東北 開催概要

- 主催：東北観光推進機構、ATTA、JNTO
- 日程：2025年9月15～22日
- 開催地：東北エリア
- 参加者：海外の旅行会社より11名、メディア関係者3名
- 主なプログラム内容：
 - 事前準備
 - ・受入研修の実施 (2月26日、3月5日)
 - ・ファムコースの事前視察 (5月26日～30日)
 - 本番
 - ・ファムツアー (9月15日～21日)
 - ・招請者と地元サプライヤーとの商談会 (9月22日)

ファムコースサマリー

- Day0：地酒と地元料理のペアリングディナー
- Day1：浄土平ボルケーノトレイル
- Day2：羽黒山2446段トレイル、湯殿山滝行体験
- Day3：角館街歩き
- Day4：マタギ体験、郷土料理づくり体験、バーホッピング
- Day5：みちのく潮風トレイル、黒森神楽鑑賞ディナー
- Day6：浄土ヶ浜シーカヤック体験、わんこそば体験
- Day7：商談会・交流会(仙台)

ファムコース概要

Authentic TOHOKU



※ ATTAとは、1990年設立、本部は米国・シアトルにあるATに関する最大の団体。メディア、政府観光局、観光協会、DMO等、約100か国、1,300会員により構成。

Adventure Week 2024の開催概要：<https://www.jnto.go.jp/news/press/20231030.html>

●ファムツアー

Day0：

欧米豪からの被招請者とATTA合わせて17名を福島駅でお出迎え。駅では横断幕の対応を頂きました。

土湯温泉では全体のオリエンテーションを兼ねて、地酒のペアリングディナーにより地元の料理と日本酒等を味わい地域を感じて頂きました。



【福島駅でのお出迎え】



【土湯温泉 地酒ペアリングディナー】



Day1：ボルケーノトレイル/宿坊体験

福島県一切経山の自然風景が地元の盆栽作家に代タインスピレーションを与えてきたストーリーと共に“山旅”としてのBONSAI TRAILを実施。自然景観の素晴らしさはもちろん、地域と山とのつながりを感じて頂きました。

夜は、山伏文化体験として宿坊での宿泊もポジティブに捉えられました。



【ボルケーノトレイル】



【魔女の瞳】



【宿坊体験】

Day2：羽黒山/湯殿山 山伏体験

宿坊での朝のご祈祷から始まり、羽黒山2446段石段トレイル、精進料理や湯殿山の御沢掛け～滝行まで雨天の中、体験頂きました。

参加者からは「この体験をやりきた」「雨もむしろ神秘的で良い」等、山伏の文化、精神性に対し強い興味関心を示されました。



【羽黒山2446段石段】



【精進料理体験】



【湯殿山 滝行】

Day3：角館街歩き

味噌醤油醸造蔵の見学ツアー、角館武家屋敷のガイドツアー実施後、夕食として地元の居酒屋でのおにぎり作りを体験。

蔵の発酵文化や、角館では特に武家屋敷内部の造りやその文化等に関し参加者から数多く質問があがりました。

居酒屋店主の娘さんの手踊り披露を含め、地元の人との交流が好評でした。



【ヤマモ味噌醤油蔵見学】



【角館街歩き】



【おにぎり作り体験】

Day4：マタギ体験/バーホッピング

現役のマタギと共に阿仁地区の森を歩き、熊鍋などを頂くマタギ体験、午後は地元民家のおばあちゃんとの郷土料理づくり、夜には八戸市内で横丁のバーホッピングも体験頂きました。

熊に対する“山からの授かりもの”という考え方や文化は自然との共生の観点でサステナブルと評価されました。



【マタギ体験】



【郷土料理づくり体験】



【横丁バーホッピング】

Day5：みちのく潮風トレイル

ハイライトである無島神社～種差海岸、北山崎の手掘りトンネル等のトレイルを中心に、三陸鉄道の語り部列車や地元漁師による漁師ランチ、夜の黒森神楽鑑賞ディナーを体験。

圧倒的な景観美はもちろん、様々な文化やそれを支える人、震災から復興してきた東北のレジリエンスを現地を見ながら感じて頂きました。



【みちのく潮風トレイル】



【漁師ランチ】



【黒森神楽鑑賞ディナー】

Day6：浄土ヶ浜シーカヤック

浄土ヶ浜にてガイド付きのシーカヤック後、盛岡ではわんこそば体験、仙台への帰路は新幹線グランクラスを体験頂きました。

コンパクトなエリアながらダイナミックな景観でのカヤック体験は、トレイル以外の楽しみ方として好評。わんこそばのエンタメ性、グランクラスの快適さも満喫頂きました。



【浄土ヶ浜シーカヤック】



【わんこそば体験】



【グランクラス乗車】

●商談会・交流会（Day7）

ファムツアーを終えた最終日、仙臺緑彩館を会場に、海外からの被招請者14名と東北の地元サプライヤーなど14社との商談会を開催。7日間のファムツアーで体験したコンテンツはもちろんのこと、今回のコースでは回れなかった多くの魅力的な東北のATコンテンツも含め、東北各地から仙台に集結したサプライヤーが地元の魅力をセールスしました。

参加者からは、具体的に今後のツアーの相談や追加の情報提供のニーズもあったとの報告も既に入るなど、欧米豪市場から東北をATで認知いただく大きなきっかけとなりました。

地元メディア取材も4社（映像系2社・新聞社2社）が入り、被招請者からのツアー・商談会を経た生の声を取材/放映/記事化頂きました。

商談後の交流会では、立食形式のカジュアルな空間で被招請者と東北の事業者がネットワーキングを図り、今後に繋がる関係性を育みました。



【制作/配布した東北ATリーフレット】



【商談会の様子】



【交流会の様子】

9月活動一覧

◆インバウンド

・8/31-9/5 韓国インフルエンサー招請

韓国からインフルエンサー1名とWebメディア関係者1名を招き、4泊5日の行程で宮城県・福島県・仙台市を巡るプロモーションを実施しました。今回は訪日韓国人の中でも特に多い20代～30代の若者世代をターゲットに、東北の魅力をSNSやWebメディアを通じて発信することを目的としました。

インフルエンサーからは「ゴールデンルートの人混みに疲れている若者も多く、東北のような落ち着いた場所への興味が高まっている。トレンドを踏まえた発信が東北へ来るきっかけになるはず」との発言もありました。



【仙台市の人気ショップの視察】

・9/5-8 マレーシア「MATTA Fair September 2025」・JNTO主催「訪日旅行商談会」

クアラルンプールで開催されたマレーシア最大の旅行博「MATTA Fair September」に出展し、東北の認知度向上・誘客促進に向けたプロモーションを行いました。また、現地旅行会社と連携した販促プロモーションも実施し、多くの方に東北の魅力をお伝えすることができました。

来場者へのインタビュー調査では「旅行会社のPRで興味を持った」「知人が訪れて良かったと聞いたので次は行きたい」といった声が寄せられ、昨年度と比較して東北への関心の高まりを実感いたしました。

併せて開催された商談会では、昨年は東北の位置関係の説明など基礎的な質問が多かったのに対し、今年は行程の工夫や季節商品の紹介など、より具体的な相談が中心となりました。現地旅行会社との関係性の進展と市場での認知の広がりを感じ、継続した取組みの成果が実感できるようになったと考えています。

今後は今回得られた知見を活かし、現地のニーズに即した情報提供を更に進めることで、東北ならではの魅力をより多くの方に届けてまいります。



【東北ブースの様子】



【商談会の様子】

◆インバウンド

・9/6-9 欧米インフルエンサー招請

フランスおよびアメリカ出身で日本在住のインフルエンサー2名を招請し、初めて東北を訪れるFIT層向けのモデルコースの体験と情報発信を目的に、3泊4日の日程で福島県・山形県・宮城県を巡りました。

熱心に取材していただき、取材の様子をリアルタイムにSNSで発信するなど、充実した内容となりました。

また今回の招請事業は全3回実施（6月に2回実施）され、今回が最終回となります。3回とも同じインフルエンサーを招請し、何度も東北について投稿することでフォロワーに強い印象を与え、「何度も訪れている＝魅力ある地域」という認識を広めることができ、大変効果的なプロモーションとなりました。



【大内宿視察】



【むすび丸のお見送り】

・9/22-28 香港関係先訪問&Holiday Travel Expo

岩手県・宮城県・山形県・福島県・仙台市と連携し、香港で開催された「Holiday & Travel Expo 2025秋（以下、香港HTE）」に東北ブースとして出展しました。

香港HTEは、旅行商品の実売を伴う旅行博であり、東北ブースでは香港大手OTAであるKlookやKKdayと連携し、東北の旅行商品造成・販促をしながら一般消費者への直接的なプロモーションを行いました。

また、会場では「宿泊先からスキー場へのアクセス方法」など、具体的な質問が多く寄せられ、訪日経験の豊富な香港の旅行者ならではの関心の高さを感じました。

加えて、香港HTEの会期に合わせて仙台直行便を運航する航空会社など観光関係者を、東北の関係者一団で訪問しました。「グリーンシーズンの魅力を一緒にPRしていきたい」といった前向きなコメントもいただき、今後のプロモーションへの期待が高まりました。

今後も、香港市場に向けた継続的な発信を通じて、東北の魅力をより多くの方に届けてまいります。



【HTEの様子】



【GBAへの訪問】

・9/24-27 Visit Japan トラベル&MICE マート

Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場）で開催された、「VISIT JAPAN トラベル&MICEマート2025」に参加し、計28社の海外旅行会社と商談を実施しました。

昨年に比べ欧米豪市場の旅行会社との商談を増やした結果、欧米豪市場にはゴールデンルートに代わる訪問地を探している旅行会社が多く、東北への興味関心の高さが伺えました。特に豪州市場では「東北のスノーコンテンツ」、欧米市場では「出羽三山」や「みちのく潮風トレイル」「農泊」などの話題が多く、今後の商品造成・送客に繋がる手応えを感じました。

今後は、商談会で築いたネットワークを維持し、市場ごとのニーズや情報を事業に反映しながら取組んでまいります。



【商談の様子】

◆インバウンド

・9/25-28 ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸に出展

9月25日から28日までの4日間、愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）で開催された「ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸」に、東北6県及び新潟県と協力のうえ、JR東日本と共同で出展しました。

テーマは「次の旅は、心躍る東北」。青森ねぶたの面やミニねぶたを配したブースはひときわ目を引き、多くの来場者で賑わいました。

ブース内では、東北の魅力ある四季や自然をパネルや映像で紹介。さらに、地酒やジュースの無料試飲、赤べこ絵付けなどの伝統工芸体験、各県の衣装試着など、見て・触れて・味わって楽しめる企画をご用意しました。中でもブランド米が当たる巨大ガチャ抽選会は大人気で、家族連れや若い世代の方々に賑わい、この4日間で多くのTOHOKU Fan Club会員の登録や、SNSのフォロワーも増え、東北ファンの輪がさらに広がりました。

業界日には各県が積極的に観光商談を行い、多くの実りある話し合いが行われました。

イベント全体の来場者数は12万6,900人（速報値）と大盛況で、東北ブース前には写真撮影を楽しむ姿も多く見られました。

今回の出展を通して、東北の魅力をより多くの方に知っていただく貴重な機会となりました。



【ブース全景】



【伝統工芸体験】

◆インバウンド連泊事業

・9/3、4、5、8、9、12（延べ6日間）インバウンド連泊促進のための検討会

田沢湖、蔵王、花巻、秋保、十和田、猪苗代の各会場において、エリアごとに連泊につながる要素を抽出し、宿泊施設と地域コンテンツ等を組み合わせた連泊旅行のモデルコース作成及び商品造成を目的とした検討会を実施し、延べ50名の方にご参加いただきました。

和倉温泉など他地域での連泊促進の成功事例を共有した後、ワークショップで各地域における連泊につながる要素の抽出を行い、グループごとに2泊3日のモデルコースを作成しました。

宿泊事業者、コンテンツ事業者、飲食事業者の方と多様な方にご参加いただき、地域内での連携がより強まる有意義な場となりました。



【猪苗代会場の様子】

◆欧米豪向けアドベンチャートラベル（AT）を契機とした東北の魅力向上事業

・9/10、29 ATガイド研修

〈第4回〉

SomeSpice 合同会社代表社員の齋藤 理氏を講師にお招きし、田沢湖クニマス未来館にて開催し、7名にご参加いただきました。座学講義と実地研修の2部構成で、Leave No Trace[®]やガイド中の緊急対応について学んだ後、実地研修で田沢湖畔を実際に歩き、環境への負荷の集中やダメージの分散について学びました。 [®] =アウトドア活動における環境倫理の基本理念。自然環境への影響を最小限に抑えながら楽しむための行動指針。



【第4回の様子】

〈第5回〉

安達太良・吾妻 自然センターの一瀬 圭介センター長を講師にお招きし、あだたら高原レストハウスにて開催し、15名にご参加いただきました。座学では一瀬氏のこれまでの経験をお伝えいただいた他、エマージェンシーシートの使い方等実践的な内容も学びました。実地研修では安達太良山を片道20分程度歩き、登山道の現状を確認しました。登山道の修復を進めている現状をお伝えいただき、第4回研修内容のLeave No Traceの実践状況を学びました。



【第5回の様子】

◆会議等

・9/1 冬の東北誘致部会

冬の東北への誘客促進を目的とした冬の東北誘致部会を開催しました。スキー場、宿泊施設をはじめとした観光事業者等、リアル12名、オンライン13名の計25名が参加し活動内容を共有しました。

東観推からは、2024年度の冬季概況、豪州事業を中心とした2025年度事業についての概要説明を行い、その後各部会員の昨今の状況や取組事例の情報共有を行うなど、非常に有意義な会議となりました。

東北の強みである雪の魅力を更に活かして、引き続き、国内外へ冬の東北の魅力を発信してまいります。



【会議の様子】

・9/11 東北ブロックマーケット研究会

東北観光推進機構と東北運輸局の主催にて、JNTOパリ事務所長、ロサンゼルス事務所長を東北へ招き、インバウンド動向と推進のポイントについて講演と個別相談会を実施しました。参加者は事務局を含め80名と昨年を大きく上回り、東北の観光関係者の欧米市場への関心の高さが伺えました。

フランス、アメリカの各市場特性やマーケティング、SNS発信の仕方等を含め東北誘客のヒントについて解説を頂き、参加者からは「今後に活かすことができる有益な機会であった」とのお声もいただきました。



【JNTO海外事務所長 講演】

◆教育旅行

・9/3 東北教育旅行セミナー大阪会場

ホテル阪神大阪にて「東北教育旅行セミナー」を開催し、関西圏の旅行会社や東北側事業者など、約80名の皆様にご参加いただきました。

第1部では、東観推や東北6県及び新潟県に加え、JR東日本、JAL、ANA、といった交通事業者からも東北教育旅行の魅力プレゼンテーションしていただきました。第2部では東北側事業者と旅行会社との商談会が行われ、参加者からは「東北については詳しくなかったが、今回の発表を通じて、東北の豊富な探究学習の良さや地域の方の強い思いが伝わってきてよい機会となった。今後も継続してほしい」といったお声をいただきました。



【商談会の様子】

◆人材育成

・9/18-19 第3回フェニックス塾を盛岡市で開催

東北の観光を担う若手の育成を目的にした第十期フェニックス塾の3回目を、盛岡市の岩手教育会館にて開催しました。今年度初めての宿泊を伴う塾です。

1日目は、第一部にじゃらんリサーチセンター センター長の沢登次彦氏を講師にお迎えし、「日本唯一の国内観光宿泊旅行マーケットデータと2040年未来予測から見た今後の観光について」と題したご講演をいただきました。

第二部の塾生によるワークショップでは、前回に続けて今後の提言テーマの設定に向けたディスカッションを行いました。

第三部として、塾生と会長を含めた東観推スタッフ、講師沢登様や岩手県の方々とは会食をし様々な意見交換を通じて親交を深めました。

2日目は、岩手県ふるさと振興部交通政策室 企画指導監の高橋利明氏に冒頭「世界が気づいた岩手の魅力」と題してご講話をいただき、その後フィールドワークとして2023年のNY Times誌の [52 Places to Go in 2023] の2番目に紹介された盛岡市の街歩きに出かけました。その成果は第5回塾の時に各班から発表いただきます。



【1日目 セミナー】



【2日目 講話】



【1日目 ワークショップ】



【2日目 フィールドワーク】



【懇親会参加者】

東北観光推進機構からのお知らせ

●以下のHP・SNSなどで情報提供を行っています。

	【東北の観光・旅行情報サイト 旅東北】 https://www.tohokukanko.jp/	
	【Facebook (Tohoku Tourism) 英語版】 https://www.facebook.com/TohokuTourism/?ref=page_internal	
	【Facebook (Tohoku for Muslims) ムスリム版】 https://www.facebook.com/EnjoyTohokuFood/posts/	
	【Facebook (日本東北旅遊) 香港・台湾版】 https://www.facebook.com/tohokutourism.tw/	
	【Facebook (旅東北 東北観光推進機構) 日本語版】 https://www.facebook.com/tohokukanko	
	【Facebook (Go Tohoku Thailand) タイ語版】 https://www.facebook.com/tohokufuntrip	
	【Instagram (Tohoku Tourism_Japan) 英語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_japan/	
	【Instagram (東北旅遊) 香港・台湾版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_tc/?hl=ja	
	【Instagram (【公式】東北観光推進機構) 日本語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_jp/	
	【Weibo (日本東北玩樂GO)】 https://weibo.com/lvdongbei	



【ねぶた灯ろう作り体験（青森県）】



【二本松の提灯祭り（福島県）】



【動画：東北の紅葉】

◆Instagramにおける「#東北PR局」を付けた投稿のお願い◆

東北の観光に関係する投稿の際には、ぜひ「#東北PR局」をつけてご投稿ください。「#東北PR局」をつけて投稿いただいたものの中から、素敵な投稿をリポストさせていただきます。（リポスト前にはメッセージで許諾を取らせていただきます）

リポストは東北観光推進機構のInstagramとFacebook（旅東北 東北観光推進機構）の両方で投稿します。

外国人向けフリーバスチケット「TOHOKU HIGHWAY BUS TICKET」

訪日外国人を対象に東北域内の高速バスと一部の一般路線バスがチケット有効期間中、乗り放題となる企画乗車券「TOHOKU HIGHWAYBUS TICKET」を販売しております。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

【発行】（一社）東北観光推進機構

仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階

【Email】info-ttpo@tohokutourism.jp

【TEL】022-721-1291 【FAX】022-721-1293

